

分析展 2011/科学機器展 2011 合同展開催
——産業復興のマザーツール展——

☆ 本日は残暑の折、また、ご多忙中にも関わらずご来場いただき御礼申し上げます。
ご見学の上、ぜひ、出展各社へのご取材を賜りますようお願い申し上げます。

社団法人 日本分析機器工業会(〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 1-10-1 電話 03-3292-0642、
会長 服部 重彦=株式会社島津製作所 代表取締役会長)と日本科学機器団体連合会(〒103-0023
東京都中央区日本橋本町 3-8-5 電話 03-3661-5131 会長 矢澤 英人 株式会社ダルトン 代表取
締役社長)主催の分析展 2011/科学機器展 2011 合同展は、本日より9月9日(金)まで幕張メッセの
5・6・7・8 の 4 ホールを使用し、1284 小間、404 社・機関の規模で開催します。来場者は 3 万人を見込
んでいます。

本合同展は、分析機器・技術に加えて理化学機器、及び、その関連技術・製品が一堂に会した、文字
通り「分析・計測の入口から出口まで」の最新情報が展示された総合展示会であり、米国の Pittcon 展、
欧州の Analytica 展とならぶ世界の3大分析・計測関連総合展として不動の地位を築いています。

○本展の大きな特長として、機器展示に加えて出展各社による最新技術情報の発表を行っている点
があげられます。隣接するホテルで出展社が行う新技術説明会は 83 社 313 テーマを数える他、幕張メ
ッセ国際会議場の全館を使用しての学術コンファレンスは JAIMA が主催するものに加えて、応用物理
学会などの学術団体が主催するセッションが開催されます。また、昨年同様、米国 Pittcon 委員会が
U.S. Symposium を開催。また、5 年ぶりに改正され、製薬関連分野の方々が高い関心を示されている
「日本薬局方」について、実際に改正に携われた 4 名の先生方による特別セミナーも開催。一方、会場
内では理化教育セミナーや理化学機器入門講座も開催されます。さらに、会期初日(9/7)に、毎回 300
名近くの一一般の方々が参加され、ご好評をいただいているサイエンスセミナーも例年通り隣接ホテルで
開催。本セミナーは『科学的な話題を一般の方々にも判りやすく』を合言葉に、宇宙からと深海からの
目を奪われる美しい映像とともに、二つのテーマ「オーロラの神秘と南極観測隊」、「海からのぞく地球
の姿」で開催します。

○合同展 2011は、分析・計測に関するアジア最大規模の展示会であり、最新の製品情報のみならず、
最先端の学術的、技術的な情報も提示される世界有数の総合展です。震災後の産業・経済復興を
目指し、主催者として、ご来場者にも、出展企業にも、共にご満足いただけるように努力してまいります。
また、主催者として、今回の節電等で節約できた経費を財源(約 300 万円予定)とし、この度の東日本
大震災の被災地である福島県、宮城県、岩手県各地の教育委員会を通し、「青少年理化教育支援金」
に充てることとしました。

【プレスルームのご案内】

●展示会場内 6 ホール北側に報道関係各位のプレスルームをご用意させていただきました。また、部
屋内冷蔵庫には冷たいお飲み物を用意しました。セルフですが、ご自由にご利用ください。

【現地事務局のご案内】

●会場内 6 ホール北側に主催者現地事務局を設けています。ご不明点、お問い合わせなどございま
したならば、お立ち寄りください。

社団法人 日本分析機器工業会内合同展事務局 事務局長 濱崎(はまざき)/小川(おがわ)